

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス まある		
○保護者評価実施期間	令和7年2月25日		～ 令和7年3月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22人	(回答者数) 12人
○従業者評価実施期間	令和7年2月25日		～ 令和7年3月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月7日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	外部からの人材(アルバイト職員、ボランティア、実習生受け入れなど)が多く、児童にとって多様な人と関わる良い学びの環境が整っている。	地域住民や教育機関への積極的な発信と関係作りを法人として行っている。	児童にとって良い学びにするのと同時に、アルバイトや実習生を指導することで、後進育成や人材確保にも努め、良い環境継続を図っていきたい。
2	学校では体験できないような人間関係の成功体験から、つまづきまでしっかりとした体制でサポートできていることが強みと考えている。	SWや公認心理師、保育士資格保有者による相談援助の実施の他、児童自身の解決も大切にし、必要に応じた介入となるよう意識している。	各学年に応じた発達課題と本人の状況を見極め、適切なサポートを行う。 遊びを通じた成功体験を積めるよう、豊富な活動の提供や設備の充実にも努めていく。
3	体験活動が充実している。	地域ボランティアを講師として招き、スポーツや音楽等の体験活動を提供する事や、札幌市内の公共施設に出向くといった、人や場所の社会資源を有効活用する事を意識している。	引き続き、社会資源の開発や有効活用をし、多様な体験活動が出来るように努めていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学習支援のニーズに応えきれていない。	学習指導要綱の理解が浅い事や、職員が学習指導の指導スキルを持ち合わせていない状況である。	学習指導要綱の理解を深める事と、ICT機器を使用した学習支援システムの導入を検討していく。また、学校との連携を強化し、児童の状況把握を行っていく。
2	活動のメリハリがない。	学習等を行う為に個別活動場所は設けているが、仕切り等が無い為、集中しにくい環境である。また自由遊びから集団活動に移行する際に、強制的に参加を促しておらず、活動内容によって児童が参加を見送り、そのまま自由遊びを行う場合がある。	令和7年4月1日より、個別活動室と支援室を分けて運用することとする。 集団活動については、スケジュールや活動内容の見直しを行うとともに、タイマーなどの聴覚的な提示を取り入れることで参加率の向上を図り、活動にメリハリをつけられるようにする。
3			

事業所名 放課後等デイサービス まある

公表日 令和7年3月25日

利用児童数 22人

回収数 12人(54%)

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11	1				
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12				学習スペースと遊ぶスペースを分けているのが分かります。目で見ても分かるような張り紙が貼ってあったり特性のある子供達に取って過ごしやすい環境だと感じます	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12					
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	5	6	1			近隣公園での活動時に、地域児童と交流する場面が多くあります。そのような交流がある事を随時情報共有出来るように努めます。
保 護 者 へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11	1				
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	4			家庭内での関わり方なども助言がありプリントにしてくださるなど本人が過ごしやすい方法を一緒に考えてくださっています。	
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	11	1			日常的にLINEなどでも連絡を取り合い些細な変化でも情報共有することで本人の安心に繋がっています	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12				専門的な知識も交え助言して下さり穏やかな気持ちで子供と関わることが出来ています	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12					

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	2	1	様々なイベント告知があるのは存じていますがなかなか予定が合わずに参加出来ずにすみません。機会が合いましたら積極的に参加したいと思っています	参加しやすいように日程等の把握に努めています。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12			その都度困り事がありましたら面談や電話面談の時間をす1週間以内には設けてくださり問題解決に繋げてくださっています	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12			子供の目の前で話すとな本人が気になってしまうことなどはLINEで報告や電話の際も本人がいなければ確認して下さっています	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12				
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	2			
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	1		避難訓練をした日は子供から必ずどんな事をしたのかお話をあり子供なりに身につけています	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	2			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12				
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	1		自分が行く曜日をわかっていて意欲的に通っていると思います	
	29	事業所の支援に満足していますか。	12				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス まある		公表日		令和7年3月25日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>			個別活動を落ち着いて取り組める、静かな環境を作る事を次年度の目標としたい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		学生アルバイトの雇用やボランティアを受け入れ、手厚い体制確保の工夫を行っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		<input type="radio"/>		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		<input type="radio"/>		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		外部研修を職員一人に対し一回派遣している。また年に1回以上内部研修を実施している。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		保護者面談や関係機関と連携し、アセスメントを行っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		Vineland-II 適応行動尺度を用いて、客観的な状態把握を行っている	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		<input type="radio"/>	常にチームで行っている訳ではないが、係で立案し全体周知をしている	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		○	打合せの時間設定はしていないが、集団活動の内容や個別サポートが必要な児童の情報共有をしている。	必要に応じて支援前後で情報共有の機会を設けていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	支援終了後の記録時間に、振り返りや情報交換・共有を行っている。	必要に応じて支援前後で情報共有の機会を設けていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○				
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○	該当児童不在	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		近隣公園での活動時に地域児童と一緒に鬼ごっこ等をする機会がある。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		面談を通じて、個別的にペアレントトレーニングを行っている。		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		○		保護者向けの行事を開催出来ていなかった為、今後はそのような機会提供が出来るよう企画していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	行事開催はしていないが、地域のボランティアを事業所に招き、昔遊び等を教えて頂くといった地域交流の機会を設けている。	地域住民を含めた行事等の開催を検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		順次、個別支援計画書への記載をしている。		